

ねりまの散歩道

「ねりまの散歩道」は、身近にある景観を楽しみながら歩く散歩道です。

まちの景観の下地となっているのは、まちの地形や歴史です。ちょっとした坂道の上下りから見えるみどり等にそのまちらしさが隠れています。「歩きたくなるまち住みつづけたくなるまちねりま」に出かけてみませんか。



ホームページでも情報を発信中！



ねりま景観まちづくり
まちあるきに便利な情報が満載です。
●見どころ
●イベント情報
●マップ etc

地区名で検索すると
周辺の景観情報が
見られます！



<https://nerima-keikan.jp/>

ねりま景観まちづくり

検索

- 1 石神井公園コース
- 2 武蔵関公園コース
- 3 大泉井頭公園コース
- 4 大泉中央公園コース
- 5 清水山・稲荷山コース
- 6 豊玉・高稲荷公園コース
- 7 中村・向山庭園コース
- 8 光が丘公園コース
- 9 城北中央公園コース

令和5年(2023年)8月版

発行：練馬区 都市整備部 都市計画課

編集：(公財)練馬区環境まちづくり公社 みどりのまちづくりセンター

石神井公園コース

四季を通じて楽しめる歴史と自然

1

ポイント

1 古道と新道

この道は、南田中から大泉へと続いていた古くからの道でした。昔の地図でも確認できますが、その形から歴史を知ることができます。ポイントは、見通しを妨げる適度にゆらいだ形状と、この道から派生したT字路の多さです。往來のための古道からまちが開かれた様子が、道の形に表れています。



ポイント

4 参道を歩く

氷川神社には、石神井川に向かって下っていく、みどり溢れる石畳の境外参道があります。この参道は、境内に向かって進むとある地点から急に神社がまっすぐ目の前に現れる劇的な空間です。



ポイント

5 川と寺社の回遊路

所沢道とも呼ばれる旧早稲田通りは、氷川神社、三宝寺、道場寺、禅定院と数多くの寺社が集まる旧道です。石神井川が併走しているので、2つの道を行き来して寺社巡りと川辺のそぞろ歩きを楽しむことができます。



ポイント

2 眺望のバリエーション

石神井池の北側の一帯は、南の方角に池と公園を望む住宅地です。池を見下ろす眺めがとても素晴らしいです。沿道のみどりが坂道を下り、池の畔のみどりと繋がって、石神井公園らしさを醸し出して



います。

こうした坂道がいくつもあります。傾斜の違いによって、石神井池の眺めが少しずつ異なり、歩いてとても楽しい景観を生み出しています。



ポイント

3 2つの池の対比

都立石神井公園は、人口池である石神井池と天然池の三宝寺池の異なる景観を兼ね備えています。



石神井池



三宝寺池



ポイント
6 橋詰の広がり



石神井川と井草通りの交差点にあるさくらの辻公園は、その名のとおりサクラの木が植えられ、蛸橋の橋詰にある公園です。人の視線が集まりやすい角地に広がる水とみどりの空間です。

ポイント
8 水路敷を辿って



旧早稲田通りから水路敷を辿ると、石神井川の開けた眺望が見えます

ポイント
7 塀をみる

さくらの辻公園の東側は、かつて石神井川が蛇行していた流域部のヘリにあたります。この辺りは、河川改修に伴って宅地開発された住宅地です。塀をよく見ると、様々な模様を見つけることができます。



同じ素材(大谷石)でつくられた幾何学模様の塀。何パターンあるでしょう？

ポイント
9 南田中のスカイライン

南田中橋に立って下流を眺めて見ると、石神井川の水面と、兩岸の南田中団地の建物とサクラの並木が一体化して、印象的な河川景観を望むことができます。サクラの木と建物の高さが調和し、視線の奥にランドマークとして平成みあい橋と給水塔があることもポイントです。



ポイント
10 傾斜地と松の風景

石神井川の流域跡の道から、北側の斜面を見上げると立派な松が何本も立っています。昔から松が自生していた武蔵野台地で、川の名残と松がつくる石神井の原風景を垣間見ることができます。



斜面地に立ち並ぶ立派な松は、地域の特徴を伝える景観要素です

ポイント
11 坂道とみどり

石神井公園駅から石神井池に向かう整備された道に、神社の境内のみどりと街路にある古くからの樹木が和田堀公園への坂を下るように、連なる景観が現れます。石神井川への高低差のある地形とあいまって、より一体的なみどりの街並みを感じることができます。



ポイント
12 商店街

石神井公園駅南口の商店街は、丁字路の交差点や途中で折れ曲がる道が多く、なかなか先が見通せません。商店街の先は石神井公園。にぎわいを道路空間に閉じ込め、さらにはこの先への期待を抱かせます。

